SeeDream

Group Video Conferencing

取扱説明書



DREAM BANK

www.dream-bank.co.jp

SeeDream（画像会議）
最終使用者の使用権契約書

本最終使用者使用権契約（“使用権契約”）は、貴下（個人または単一事業者）と㈱ドリームバンクとの間で締結される契約です。貴下はソフトウェア製品の設置、複写、使用することにより、本使用権契約の内容に同義することとなります。貴下が使用権の契約に同意しない場合、㈱ドリームバンクは、貴下に対してソフトウェア製品の使用権を許可できません。

ソフトウェア製品使用権
本ソフトウェア製品は知的財産権及び協定、コンピュータプログラム保護法、著作権法によって保護されています。

1. 本使用権契約で次の通りの権利が許可されます。
   ＊ 貴下は１台のコンピュータに１本のソフトウェア製品を設置、使用できます。

2. 制限
   ＊ 貴下は同一なソフトウェアが設置された使用者間のみ使用できます。
   ＊ 本ソフトウェアを任意で複写して使うことはできません。ソフトウェア製品を別のコンピュータに移す場合は、㈱ドリームバンクまでお問合せください。

3. 著作権
ソフトウェア製品（ソフトウェア製品に含まれているイメージ、写真、ビデオ、オーディオ、テキスト、コデックなどを含む）、付属の印刷物とソフトウェアの複写本などに対した所有権や著作権は㈱ドリームバンクに有ります。

4. 製品支援
ソフトウェア製品に対した製品支援は㈱ドリームバンク又はプログラム供給業者から提供します。本契約に対して御問合せは㈱ドリームバンクまでください。

目　次

1. 製品特徴と要求事項
2. プログラム環境設定
3. 製品使用法
4. 問題点の解決
5. 製品のお問合せ

1. 製品特徴と要求事項

プログラム特徴

- 誰でも邯鄲い使える使用者インタフェース
- 320 x 240 画面の1秒当り30フレーム以上を転送
- 高品質の為の640 X 480画面転送をオプション選択可能
- 望む画面を2倍まで拡大可能
- 別途運サーバーやMCUが無くても、4者間の画像と音声通信
- 簡単な通話方式と使用法(フール機能リモートコントロール)
- 高品質の音声通話
- 文書会議のための画面共有機能を基本支援



プログラム要求事項

構成	規格	
	勧奨規格	現在規格
運用体系	Windows 98/2000/XP	Windows XP
メインメモリ	256MB 以上	256MB
ＣＰＵ	PⅢ – 1GHz 以上	PⅣ – 1.5GHz
ビデオカード	32M 以上のグラフィックカード（TV-OUT端子）	
キャプチャカード	640X480支援可能な高性能キャプチャカード	
カメラ	高画質 CCDカメラ（Pen、Tilt機能）	
オーディオカード	両方向伝送(Full Duplex)支援可能な高性能のサウンドカード	
HDD	100 M Byte 以上	40G Byte
通信環境	T1(1.5Mbps)以上	E1(2Mbps)



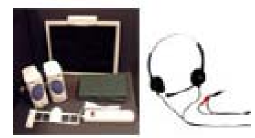
＜シードリームを使った会議室の構築図＞

ビデオ装置



SeeDreamを使う為にはPCカメラが必要になる。PCカメラの場合、USBポートを使って入力される方法とキャプチャーカードを装着してアナログデータを入力される二つの方法があります。
ドライバを設置して、正しく動作しているかを確認します。
カメラが設置されると、ソフトウェアが自動的に設定を合わせます。但し、複数のドライバが設置された場合は、プロパティーで一つのカメラを選択してください。

オーディオ装置



SeeDreamを使う為にはサウンドカードが必要になります。一つ注意することは、画像通信をする為には両方向同時データ伝送が可能なFull Duplex規格が必要になります。サウンドカードにはマイクとスピーカ又はヘッドセットが必要です。
ハードウェアの特性上若干のエコー現状が起こることがあります。しかし、ヘッドセットを使いますとエコー現状を減らせます。
基本的にサウンドの設定は、マイクのボリュームは高く、スピーカのボリュームは低く設定したほうが効率的です。又,スピーカのボリュームを調節する時にはマイクバランスは音消去を選択し、マイクのモニタリングの機能を消去した後、音声のアプリケーション(3D、Synthesizer)は設定しないと音声が綺麗に聞こえます。

2. プログラム環境の設定

プログラムの構成

- SetDream.exe: 使用者登録及びビデオ環境設定のためのプログラム
- SeeDream.exe: 多者間の画像会議プログラム

SeeDreamの環境設定



〈SetDreamを使ったSeeDream環境設定の例〉

SeeDream環境設定の例題

次はSetDreamを使ったSeeDream環境設定の例です。
下記のようにリモコンメニュの使用者リストに登録した使用者のリストが表示されることがわかります。



〈SetDreamを使ったSeeDream環境設定の例〉

SeeDream環境設定項目の紹介

❑ 使用者の登録

使用者の登録は最大８名まで出来ます。登録した使用者はSeeDreamの使用者リストに表示され、ホストが使用者を選択することで会議に招待できます。
使用者の登録の為、必ず本人の名前(ID)とIPアドレスを正確に入力しなければなりません。又、使用者１から８までの項目には、会議に招待する使用者のIDとIPアドレスを入力します。

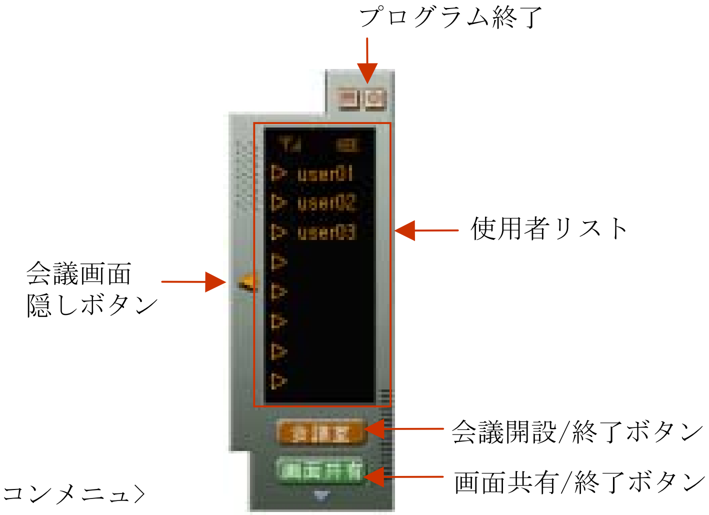
❑ ビデオ情報

ビデオ情報の設定は、カメラと伝送ビットレート、伝送方法などを決定する機能を持っています。
カメラ ドライバの位置は、使用者のパソコンに２台以上のカメラが設置された場合は一つを選択します。
ビデオ出力画面のサイズ指定は、出力される画面のサイズであり、現在は320x240と640x480の２種類を支援します。デフォルトは320x240です。640x480を指定すると画質は良くなりますが、伝送するデータの量が大きくなりますのでE1クラス以上などのネットワーク状況で使うことを推薦します。
１秒当りのビデオフレーム数は１から３０まで調整が出来ます。デフォルトは３０であり、T1未満のネットワークの環境の場合では画像が切れたり雑音が多くなる可能性があります。この場合はフレーム数を調整して画像の安定化ができます。
ビデオ伝送マルチキャストの使用は、多者間の画像会議の時、動映像データの伝送方法を決定します。チェックを行わないとユニキャストで送るようになり、チェックをするとマルチキャストで送るようになります。この項目のデフォルトは、ユニキャスト伝送モードであり、マルチキャスト伝送モードを使う場合は別当のルータ装備が必要になりますので当社までお問合せください。

4. 製品の使用法

SeeDreamの使用方法





〈リモコンメニュ〉

会議進行の方法

多者間画像会議の進行は次の手順の通りです。

1. プログラムスタート
2. 会議室の開設
3. 会議に招待
4. 会議進行（画面共有）
5. 会議終了
5. プログラム終了

※ 会議を開設すると使用者は会議のホストになります。ホストは会議進行に対しての権限を持ち、権限の内容は次の通りです。

- 会議の開設
- 会員を会議に招待
- 会員に対しての強制退室の命令
- 会議の終了

ホストや会議に参加した全ての会員の権限は次の通りです。

- 音声/画像通話
- 画面共有
- 会議から退室

会議開設と招待方法

会議開設の順番は次の通りです。

1. 会議室ボタンをクリックします。(会議開設)

2. 参加者を選択してクリックします。(会議招待は最大４人まで)
   参加者を選択してクリックします。(会議招待は最大４人まで)
   .
   .
   .
3. 会議スタート

使用者のリストから使用者をクリックすると直ちに繋がります。
会議に招待された使用者は使用者の同意なく、ホストと繋がります。

会議中にプログラム使用方法

会議の進行途中に発生する状況に対して、幾つかの対応例を持って
SeeDreamの使用方法を説明します。

- 他のプログラムを実行させた時 ： ③番の隠し
- 会議画面に復旧したい時 ： ③番の復旧
- 特定の使用者の画面を拡大したい時 ： ⑦番の画面モード変更
- 画面を共有した時 ： ⑥番の画面共有
- 会議から退室した時 ： ⑤番の会議室

会議進行の例題

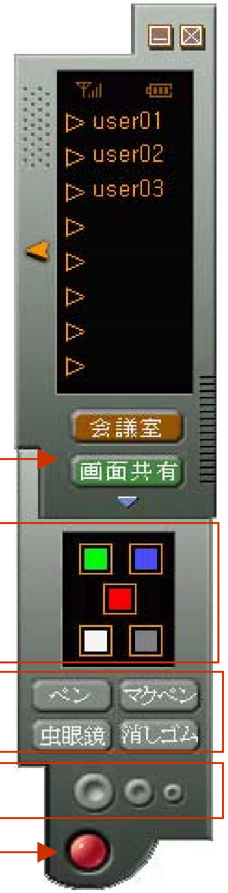


<SeeDream使った会議進行の例>

画面共有の使用方法

画面共有は下記の手順により行い、これを使ってプリゼンテーションが出来ます。

-> 画面共有を希望する相手が画面共有をクリック
-> 画面共有のサブメニュが現れる
-> 共有を望む画面が相手の画面に現る
-> 画面伝送開始/終了をクリック
-> 画面伝送
-> 画面共有のツールを使ってプリゼンテーション
-> プリゼンテーションが終わった後、画面伝送の開始/終了をクリック
-> 画面共有が解除される



〈画面共有サブメニュ〉

画面共有の例題



5. 問題点の解決

ビデオ問題

カメラの正しい動作を他の応用プログラムを用いてチェックします。カメラが正しく動作しない場合はカメラ自体の缺陥である可能性もあります。リブートしても問題点が解決されない場合は、カメラの購入先にお問合せください。カメラの製造会社によって本ソフトウェアと互換出来ない場合も考えられますので、その場合は本社にお問合せください。

- モニタ ドライブが正しく設置されてない場合
- 画面の解像度が非常に低い時
- 他の応用プログラムがビデオ/オーディオ デバイスを使っている時
- カメラ ドライブの設置が正しくない時

オーディオ問題

サウンドカードの問題である場合は、パソコンから何も聞こえなくなります。しかし、Half Duplex製品の場合は、サウンドの送受信が同時に行わない為に通話が不便になります。

確認方法:
1. 音楽ファイルを実行させてスピーカから音が聞えるかを確認します。
2. Windows スタート メニュから -> プログラム -> アクセサリ -> エンタテイメント -> サウンドレコーダを実行します。

この時、二つが同時に実行される場合、これはFull Duplex(両方向支援)のサウンドカードであり、同時に実行できない場合はHalf Duplex(片方向支援)です。

ファイアウォールの問題

ファイアウォールが設置されているか、施設IPの場合は外部との通信が出来ません。他の使用者のログオン状態確認と連結要請が出来るが、実際の通信はできません。

エラーメッセージに関した処理

エラーメッセージは会議開設や進行中に下記の形態でメッセージを知らせます。



〈エラー メッセージの例〉

次はエラーの原因と解決策を調べます。この以外のエラーメッセージが発生したら、本社までお問合せください。

Error: IPアドレス又はネットワークの状態を確かめてください。

=> 解決策 : SetDreamを実行して、本人のIPアドレスが正しいかの確認やネットワークの状態を確認します。

Error: 会議開設に失敗しました。

=> 解決策 : SetDreamを実行して、本人のIPアドレスが正しいかを確認してください。

Error: 既に会議に参加している使用者です。

=> 解決策 : 既に会議に参加している会員を招待した場合に発生するメッセージです。

Error: [札幌支社]XX様におつなぎません。

=> 解決策 : 相手のパソコンい電源が入ってないか、SeeDreamを実行させてない場合に発生するメッセージです。

Error: 重複して登録した使用者がいます。確かめてください。

=> 解決策 : SetDreamを実行して、重複した使用者のIPアドレスを確認の上、重複したIPアドレスを修正するか消去してください。

Error: 現在、使用者がいません。

=>解決策 : 会議を開設して誰も招待してない状態(1人で入っている場合)の場合、画面共有をクリックした時に発生するメッセージです。

Error: 相手が既に会議を開設しています。

=> 解決策: 招待しようとする人が既に会議を開設しているか、他の会議に参加している時に発生するメッセージです。

Error: 会議が開設中です。先ず、会議を終了してください。

=> 解決策: 会議の途中に会議を終了していないままで、プログラム終了をクリックした時に発生するメッセージです。

Error: 現在、４者間会議中です。..

=> 解決策: ４人が会議の途中に5番目の人を会議に招待しようとした時に発生するメッセージです。

※ 上記で提示されたメッセージ以外のエラー メッセージが発生した場合は、本社までお問合せください。

6. 製品のお問合せとアフタサポート

長崎市銅座町２－２０ ㈱ドリームバンク
TEL：095-832-2200 FAX：095-811-3073